表現方法の工夫　～手書き制作とディジタル制作の違いを考える～　①

１　はじめに

　情報を表現するための方法が様々ある中で、ディジタル画像の特性を理解しよう。そのために、手描きで制作して、さらにそれをディジタル画像として作成する。画像処理ソフトウェアを利用し、レイヤーの考え方とエフェクト（効果）などの機能を効果的に利用し、活用することで情報表現の幅を広げよう。

２　目標

1. 情報を表現する方法として、ディジタル画像の特性を理解する。
2. CGを利用する際に必要となる、レイヤー機能の利用方法を理解する。
3. 画像処理ソフトの編集方法を理解し、エフェクトの利用方法を習得する。
4. 画像処理ソフトを利用した背景の描き方を習得する。

３　手描きのメリットを書きだそう。

４　ディジタル画像のメリットを書きだそう。

実習１　自分を表現する漢字・イラスト・サインをワープロソフトウェアで描く。

実習２　印刷された作品を透明フィルムにトレースする。

実習３　画像処理ソフトウェアを使って作品を制作する。

実習４　完成した作品を相互評価する。